

えちぜん議会だより



秋季茶会 (10月2日・越前陶芸村にて)

【主な内容】

Contents

- 臨時会・定例会報告
議案賛否一覧 2~4
- 町政を問う(一般質問) 5~7
- 決算審議 8~11
- 視察研修報告 12~13
- 一般質問 ~その後~ 14
- 会議出席状況 15
- がんばってます! 16

第3回臨時会

◆専決処分の承認

平成28年度越前町一般会計補正予算（第4号）
60万円

〈重度身体障がい者住宅改造助成事業〉

重度身体障がい者（児）の住宅（玄関・台所・浴室等）を改造する経費の助成を計上し対応しました。

◆行政情報システム整備事業物品売買契約について

役場内の内部情報システム更新に係る機器等の売買契約の締結を可決しました。

◇契約金額：4,189万円

◇契約の相手方：福井システムズ(株)

◆朝日中学校・越前中学校パソコン等機器購入事業物品売買契約について

朝日中学校と越前中学校の教材用パソコンを購入するため売買契約の締結を可決しました。

◇契約金額：4,784万円

◇契約の相手方：福井システムズ(株)

こんなことを審議しました

■提出された議案

議 案 名		可決・承認状況	
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度越前町一般会計補正予算（第4号））	○	全会一致
議案第55号	平成27年度（繰）内部情報システム購入事業物品売買契約について	○	全会一致
議案第56号	平成28年度朝日中学校・越前中学校パソコン等機器購入事業物品売買契約について	○	全会一致

会期／7月22日

9月定例会

会期／9月13日～21日

専決処分の承認

（一般会計補正予算）

老人憩いの家『陶寿園』改修事業

◆250万円

陶寿園の大広間の空調設備が故障したため、取替工事費を補正し対応しました。

保育所（旧朝日中央保育所）解体事業

◆2,683万9千円

旧朝日中央保育所解体時、地下の重油タンクからの重油の漏れを発見したため、範囲を調査するための委託料と油濁土壌の撤去、処分費を補正しました。伊部議員 業者はどのようにして決めたのか。

民生理事 県内には処分できる業者がなかったため、石川県に依頼した。伊部議員 土地の所有者には、どのように説明しているのか。

民生理事 所有者には経緯の説明と、今後は油汚染対策のガイドラインに沿って処分する旨を説明した。

ること、地域の消費喚起や観光PR、定住促進など地域振興に繋がります。

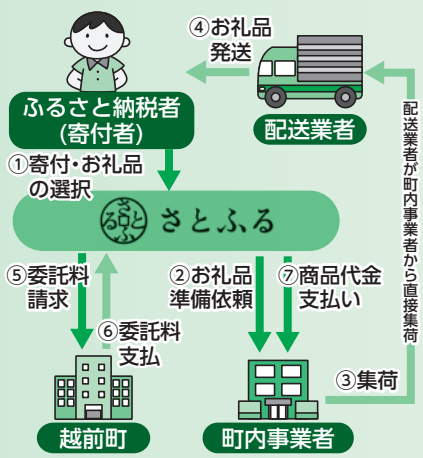
田中議員 町内のふるさと納税の返礼品取扱業者は現在8社。今後増える予定はあるのか。

企画財政課長 募集、説明会を実施したところ15業者が参加した。もう2業者ほど増える予定である。今後も引き続き募集し随時増やしていきたい。

佐々木議員 これまでのふるさと納税の件数と金額を教えてください。

企画財政課長 平成20～27年の実績は、229件で1,608万円、年平均201万円である。寄付者は110人で、そのうち2回以上の寄付者が38人である。

佐々木議員 10%の返礼では少ないのではないのか。他の自治体では30%程度の返礼が平均である。どのような返礼品を考えているのか。



条例

◆越前町移住・二地域居住体験施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

昨年オープンした「Mohaage（モハーージュ）」（茂原地区）に続き、今年10月1日にオープンする「Laugh・la（ラフ・ラ）」（小曽原地区）を越前町移住・二地域居住体験施設の設置及び管理に関する条例に追加しました。



契約

◆平成28年度越前町防災行政無線戸別受信機整備工事請負契約について

災害時における迅速かつ正確な情報の伝達、平常時の行政情報の円滑な周

町長 納税額の10%の商品券で還元したい。

副町長 「ふるさとを応援したい」という本来の趣旨で寄付をいただいている方々の思いを尊重するために、適正な還元率の中で返礼品を充実していきたい。

文化スポーツ合宿誘致事業

300万円

文化スポーツ合宿事業補助金の不足が見込まれるため増額します。

「文化スポーツ合宿事業補助金」

町内の宿泊施設と文化スポーツ施設を利用して合宿する大学生に対し、宿泊費や施設利用料、交通費を一部助成する制度

伊部議員 合宿利用施設・宿泊先はどれが多いのか。

商工観光課長 合宿利用施設は町内の体育施設やオタイコヒルズのグラウンドが主である。宿泊先は町観光連盟に加入している旅館等で、誘致事業対象の登録宿泊施設である。

上坂議員 利用できる宿泊先の数は。商工観光課長 朝日地区が2件、宮崎地区2件、織田地区2件、越前地区44件合計50件である。

吉村議員 越前地区に宿泊した団体は、どこの施設を利用するのか。商工観光課長 アクティブハウス越前体育館を利用する団体が多いが、織田

◆平成28年度自然文学資料館改修工事請負契約について

「越前水仙を活かしたまちづくり事業」の一環として、越前岬水仙ランド（血ヶ平地係）にある自然文学資料館のレストランへの改修工事や展望テラスの整備などの工事請負契約の締結を可決しました。

◇契約金額：1億260万円

◇工事の概要：レストランへの改修、展望テラスの整備、駐車場の再整備など

安井議員 改修後のレストランの委託先は決まっているのか。商工観光課長 (株)マイナーリバーズ（坂井市）に決定している。工事完了は来年の2月予定で、レストランの

補正予算

ふるさと納税推進事業

280万円

ふるさと納税ポータルサイト（さとふる）を導入して越前町への寄付を呼びかけ、お礼品に地元特産品を贈呈す

いっぱん質問！

町政を問う！

一般質問では、議員が住民の代表として、行財政全般にわたり、町当局の施策を問いただします。
9月議会定例会では5人の議員が、身近な諸問題について質問をしました。



笠原 秀樹 議員

●「からだの健康」の実現のため、特定健診や人間ドック受診の推進と健診後の保健指導を実施し、高齢者の健康保持増進を図る。
●「すこやかな老後」



『高齢社会白書』によると、現在26・7％の高齢化率は2060年には39・9％にまで上昇するといわれる。社会に大きく貢献してきた高齢者に「長生きが幸福」と思える社会づくりが大切である。超高齢化社会に向けての対策を問う。

町長
本町の高齢率は31・1％であり昨年より1％増加している。本町では、高齢者の生活の質を向上させ健康寿命を延ばすとともに、元気で安心して暮らすことの出来るまちづくりに3つの側面から取り組む。
●「心の豊かさ」の実現のため、老人クラブ活動やシルバー人材センター運営へ助成し、高齢者の社会参加活動の充実を図る。
●「からだの健康」の実現のため、特定健診や人間ドック受診の推進と健診後の保健指導を実施し、高齢者の健康保持増進を図る。
●「すこやかな老後」

超高齢化社会に向けての対策について

笠原

勤労者体育館を利用する団体もある。
田中議員 リピーター率を把握しているか。
商工観光課長 平成27年度の利用団体のリピーター率は52・7％である。
漁港建設一般事業
750万円
白浜（城崎）漁港
高佐港において、漁港を南北に縦断する排水溝の躯体や鉄蓋等が経年劣化で破損して、陸揚作業や通行に支障をきたしているため、改修します。
（国民健康保険事業特別会計）保健衛生普及費事業
112万円
人間ドックの受診を希望する被保険者が、より多く受診できるように、受診委託料と受診助成費を増額しました。
田中議員 40人分追加しているが、それ以上申し込みがあった場合はどうするのか。
健康保険課長 受診申し込みは期限を設けて受け付けている。今回は期限内に申し込みをされた方を対象にしている。



議員発議
北陸新幹線金沢・敦賀間開業後の特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書について
関西・中京圏との利便性をこれまでどおり確保するため、北陸新幹線の乗り換えの拠点利便性が高い福井駅と位置付け、金沢・敦賀間開業後も福井駅まで特急「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させることを求める意見書を提出することとしました。
〔提出先：衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・国土交通大臣・内閣官房長官〕

■ 全会一致で可決・承認した議案

議 案 名		議 案 名	
報告第4号	平成27年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	認定第1号	平成27年度越前町一般会計歳入歳出決算認定について
報告第5号	平成27年度決算に基づく資金不足比率の報告について	認定第2号	平成27年度越前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
報告第6号	平成27年度越前町公共下水道事業特別会計継続費精算報告書	認定第3号	平成27年度越前町介護保険事業特別会計（保険事業勘定・介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定について
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度越前町一般会計補正予算（第5号））	認定第4号	平成27年度越前町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第57号	越前町手数料徴収条例の一部改正について	認定第5号	平成27年度越前町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第58号	越前町移住・二地域居住体験施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	認定第6号	平成27年度越前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第59号	字の区域の変更について	認定第7号	平成27年度越前町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第60号	平成28年度越前町一般会計補正予算（第6号）	認定第8号	平成27年度越前町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第61号	平成28年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	認定第9号	平成27年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第62号	平成28年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	認定第10号	平成27年度越前町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第63号	平成28年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	認定第11号	平成27年度越前町上水道事業会計決算認定について
議案第64号	平成28年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	認定第12号	平成27年度越前町国民健康保険病院事業会計決算認定について
議案第65号	平成28年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	発議第2号	北陸新幹線金沢・敦賀間開業後の特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書について
議案第66号	平成28年度越前町温泉事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第67号	平成28年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第68号	平成28年度越前町土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第69号	平成28年度越前町上水道事業会計補正予算（第1号）		

■ 賛否が分かれた議案 ※議長は、採決に加わりません。

議 案 名		田中	佐々木	齋藤	伊部	青柳	笠原	村上	木村	北島	上坂	安井	山本	吉村
議案第70号	平成28年度越前町防災行政無線戸別受信機整備工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×
議案第71号	平成28年度自然文学資料館改修工事請負契約について	×	×	×	○	×	○	○	—	○	○	○	○	×



観光と産業振興はどうするのか？

田中 太左エ門 議員

田中 越前ブランドのPR方法と観光戦略についてお伺いします。まず、昨シーズンの越前がにの漁の総括と今後の「極」を含めた越前がにの販売戦略はどう考えていますか。また、越前ブランドの越前焼、カレイや瓦、スイセン、越前二の宮、劔神社等のブランド品の有効利用やPRを、観光戦略として考えているのか。

県が、スイセン畑を「重要文化的景観」への選定に向けて事前調査を実施すると聞いている。重要文化的景観は、全国では50件選定され、福井県ではまだ選定された地域はない。もし選定されれば越前海岸の価値がさらに高まり、観光誘客にもつながってくる。県への要望活動をされているのか。観光産業が活性化することで、農林水産業や商工業など、活性化に波及効果が期待できる。また、お土産の購買や滞在していただければ消費が増加し、町民の働く場の確保にも寄与することができ、人口減少にも歯どめをかけることができるのではないかと考えている。

重要文化的景観は、事前調査への協力体制の整備と、県及び関係市町と広域的な連携を図りながら、平成31年度の選定に向けて取り組んでいきたいと考えている。越前陶芸村や福井総合植物園プラントピア、劔神社など、交流拠点施設の再整備による観光資源の魅力向上や観光客の受け入れ体制の強化、また、越前ブランドを活用したさらなる施策の展開を強力に進めていく。本町の海・山・里の豊かな観光資源を生かし、観光産業の活性化を図り、人々の活発な交流を促進することで、観光以外のさまざまな産業の活性化にも寄与することが可能であると考えている。

町長

大都市圏でのPR活動やインターネット

いっぱん質問

町政を問う！

町の入札制度の現状と透明性向上・情報公開について

青柳

近年、町発注の入札において、ダンピング受注と思われる極端な低価格での落札が相次いでいる。未だ国の通達を無視した形で、最低制限価格が導入されていない。その明確な理由と、発注者としての責任をどう考えているのか。

町長

庁内組織で最低制限価格導入について、メリット、デメリット、県内自治体における運用状況等の把握などの検証、検討を続けている。総合的に勘案した上、現在導入に至ってはいないが、今後導入を進めたい。

青柳

本年1月に議員7名で制度導入を強くお願いしたが、現状は変わっていない。再度答弁を求める。

町長

なるべく早い時期にと考えている。

青柳

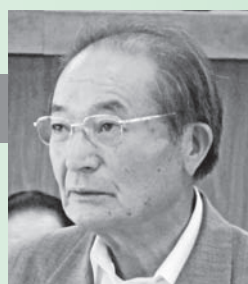
入札の透明性を確保するために、公信力の高い、客観的で明確なルールを作り、その過程をも情報公開することが「公平、公正」に合致することと考えるが。

町長

入札事務については、入札結果一覧などを公開しているが、制度についての情報提供や周知期間の不足による誤解が生じるのであれば、今後一層の情報公開に取り組むとともに、透明性の確保を図る制度についても前向きに検討する。

「ダンピングとは」

採算を度外視するような低い価格で商品や役務を供給し、公正な市場競争を破壊する活動のこと。独占禁止法により禁じられている。



越前町の中学校勤務教員の勤務状況について

佐々木 一郎 議員

佐々木 町内の中学校勤務教員の勤務状況、特に部活動の負担が一番大きいと思うが、現在はどうなっているのか。

教育長

県教育委員会が5月に実施した教員の勤務状況調査の集計報告によると、越前町内の中学校教員の二日の勤務時間は10時間57分である。土日の勤務の主な理由は部活動で、全体の60%を占めている。

佐々木

部活動の中で、町内4校の中学校の野球部について、BCリーグ福井ミラクルエレファントの選手に、シーズンオフ（9月中旬以降）に臨時コーチとして指導してもらったよう依頼してほしい。他の部活動も、部の指導者の招へいについて継続的に実施していただきたい。

教育長

外部指導者の導入は、専門的技術的な指導を出来るという面から捉えれば、顧問は非常に助かると思うが、教員



の勤務時間の短縮にはつながりにくいと考える。しかし、トッププレイヤーのプレーする姿を間近に見たり、トッププレイヤーから指導を受けたたり話を聞くことは、生徒たちの意識改革に非常に有効である。トップアスリートを招聘してのスポーツ教室や講演会の開催は、技能指導だけでなくトップアスリートとしての考え方や努力のしかたを聞くなど、選手と直接交流して学べる絶好のチャンスとなるので前向きに検討していきたい。

また、他に希望がないか調査したところ、他に4つの部から希望が出てきた。野球部以外の部においても、顧問の意向を尊重しながら外部指導者の導入について検討していきたい。

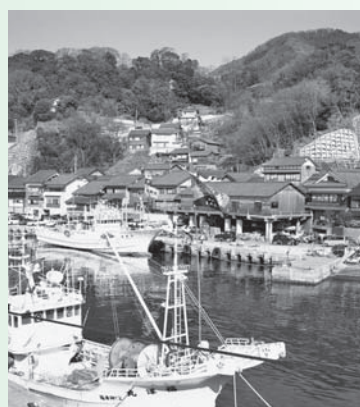
ドック場（漁船上架場）の整備について

吉村

近年増加傾向にある一本のキール船は、町内のドック場は使えず町外（敦賀、小浜、三国）のドック場まで行かなくては漁船の修繕ができない。越前漁港内にキール船体に対応したドック場整備についてどう考えているのか。

町長

漁船の上架施設建設に対する要望は10年以上前から話題に上がり、そのつど立ち消えになってきた経緯がある。今後人員と財源を有効に活用した運営を研究し、将来の組合経営を



考慮しながら上架施設および荷さばき所の建設計画を策定していきたいとのことである。町も漁業協同組合と十分に連携を取って対応していきたい。

平成29年3月任期満了に伴う町長選挙への立候補の意向について

吉村

次期町長選挙への立候補の意向について伺いたい。

町長

公平で公正な政治を心掛け、町を元気にするため、町の長期的な将来図を思い描きながら、かつ目先の問題も解決しなければならぬ日々の連続であったように感じている。

町民が日々の生活を笑顔で過ごせるような町にしたいと考えているが、今はまだその道半ばである。越前町が今後も力強く前進できるように、全身全霊を傾けて努力したいと思っている。今度初心に立ち返り、町民の皆さまのご支持ご支援をいただけるのであれば、再度町政を担ってきたい。議員各位におかれまして是非ともご支援をたまわりたい。

青柳 良彦 議員



平成27年度
決算審査

町の財政状況を 審査しました

認定

一般会計 8億4,495万円の 黒字決算(実質収支額)

一般会計

収入総額
151億9,786万円

支出総額
142億269万円

翌年度に 繰越する額
1億5,022万円

実質収支額
8億4,495万円

9月議会定例会で、平成27年度一般会計と9特別会計、2事業会計の決算を審査しました。部門ごとに様々な質問をし審査した結果、全会一致で認定しました。

総務部門

田中議員 地域コミュニティ交付金に不用額が生じている。なぜ不用額が出るのか。
企画財政課長 予算では4地区で1,000万円を計上している。事業の内容は、コミュニティ運営委員会が企画し交付金を申請するが、申請額全額



宮崎コミセンまつり

の執行は難しい。

田中議員 予算の使い方に制約が多いとの意見も聞く。次年度に繰越はできないのか。
町長 次年度に繰越はできないが、コミュニティ交付金は全て使っていたので、地区の活性化に大いに活用していただきたい。

佐々木議員 職員の人件費について、当町の経常収支比率における人件費の割合は、20.2%で決して高い割合ではない。ラスパイレス指数でも91.9と高くない。(全国の平均は95.8)。特別昇給制度などを活用して、職員の意欲、やる気を起こしてほしい。

副町長 現在、公務員は特別昇給制度等の利用は抑制傾向にあるが、優秀な職員に対して有効に活用していきたい。

佐々木議員 超過勤務手当について、現在は100%実質給であるが、一部本俸に繰り入れてはどうか。

副町長 本俸への繰り入れは考えていない。

民生部門

青柳議員 旧朝日北保育所の跡地利用について

副町長 できれば宅地として活用したい。販売については町で行うが民間に委託するかは今後検討する。

青柳議員 気比庄団地の抽選に外れた人に優先して提供することはできないか。

副町長 時期を見ながら、そのような対応も考えたい。

吉村議員 手話奉仕員養成講座について、現在、町内で手話ができる人の数は?

福祉課長 昨年度、手話奉仕員養成講座入門課程を18名が終了し、現在基礎課程を20名が受講している。両課程の修了者が手話奉仕員として町に登録される。平成30年に開催される福井しあわせ元気大会(全国障害者スポーツ大会)に向けて、増やしていきたいと考えている。

青柳議員 乳幼児健診の受診率が100%でないのはなぜか。

健康保険課長 お子さんが受診されていない世帯には、再々連絡を入れ受診を促している。これからも引き続き受診率アップに努めたい。

で行っていて、朝日地区13団体、宮崎地区5団体、越前地区15団体、織田地区17団体を実施した。



乳児歯科検診



介護予防体操教室

農林水産課長 農林水産省が推進している6次化産業化事業で「農家民宿事業」がある。この場合、宿泊許可が必要となる。宿泊許可をもらっている農家は現在はない。



漁家民宿誘致事業

産業部門

田中議員 漁家民宿誘致客拡大事業について、実績は?

農林水産課長 漁家民宿誘致事業協議会加入の民宿は18軒で、参加者は95名であった。

田中議員 農家民宿はしないのか。

田中議員 越前がにミュージアムマーケット棟指定管理委託料について、27年度はレストランを開業していないのに全額交付しているのはなぜか。
産業理事 基本協定・年度協定では精算後の差額を支給することになっている。平成27年度精算の結果、300万円の赤字であったため満額支給した。平成28年度にはレストランの改

修費用を予算化している。計画より開業が遅れているので、なるべく早く開業したい。

青柳議員 越前がにミュージアムリニューアルオープンが入り込み客数はどうか。

産業理事 リニューアル後、入客数は13,000人を超え、前年同月と比較すると4倍である。



越前がにミュージアムの絵画水族館

金も支給している。町は何かの形で関与することになる。

伊部議員 観光連盟が実施している観光客誘致事業も横ばいとなっている。今後は、民間の手法を取り入れていくように要望する。

青柳議員 海鮮市場については、「地元業者の営業を圧迫することのないよう注意する」と言っていたが、現在、地元業者からの苦情はないのか。

商工観光課長 近隣飲食店からは、波及効果で売上が伸びていると聞いている。

吉村議員 業績が上がった

店舗ばかりではないと思う。よく調査するように要望する。

伊部議員 観光連盟は設立してから3年がたつので、もう出向町職員を引き上げて連盟独自で運営してはどうか。

副町長 今後は独立して連盟だけで運営するようにしていきたい。しかし、理事長は町長が務めている。また、多くの補助

金も支給している。町は何かの形で関与することになる。

伊部議員 観光連盟が実施している観光客誘致事業も横ばいとなっている。今後は、民間の手法を取り入れていくように要望する。

農林水産課長 農業者の高齢化の影響もあり、加入率は年々減少している。今後は積

お願いしたい。

建設理事 地元要望の単独事業に関しては、予算を有効に利用して不用額が出ないようにした。

田中議員 モハーージュ（茂原地区の移住・二地域居住体験施設）の利用状況と利用者のその後について

建設理事 年間14件で110日間の利用があり、収入金額は186,000円あった。大阪出身の男性がモハーージュを利用後、現在は、茂原地区の別の家を借りて住んでいる。また、利



モハーージュ（茂原地区）

定住促進課長 借地である物件から優先して対応していきたい。

田中議員 「新庄住宅団地」分譲宅地販売について、残りの区画販売の戦略は？

宅地購入時の助成などを検討して早く完売できるよう努力してほしい。

副町長 現在35区画中27人の申し込みが

用後漁師になりたいと移住してきた若者もいる。

田中議員 町営住宅合理化推進事業について、すでに町営住宅の解体を始めているが、今後の計画は？

定住促進課長 平成27年度は気比庄第2団地4戸と上川去団地1棟4戸を解体した。町営住宅の中で、耐震基準を満たしていない古い木造住宅の取り壊しを検討している。計画的なものはないが、今後順次予算要求していきたい。

田中議員 早急に対応してほしい。

立方式・確定拠出型年金のPRも進めていきたい。

齋藤議員 獣害対策の檻の貸出状況はどうか。

農林水産課長 区からの要請が次々とあり、毎年追加補充していても足りないくらいである。今後も補修と補充をしながら対応していきたい。

佐々木議員 松くい虫被害対策で、受益者からの申請が直ちに対応できているか。町有林実態調査の実施状況はどうか。

農林水産課長 現在、広範囲空中散布は農薬規制によりで



松くい虫駆除のための農薬散布（三崎地係）

ある。今後は子育て世代に限定して募集をするなど残りの区画の販売についても努力し、早期の完売を目指す。



新庄住宅団地チラシ

教育部門

青柳議員 複式学級は、児童生徒にとってどのような影響があるのか。小学校統廃合については、今後避けて通ることのできない問題である。今後の見通しはどうか。

教育長 複式学級や、小規模学校はデメリットがクローズアップされがちであるが、子どもにとってプラスになるかマイナスに

きていない。10月までに申請すれば4月には対応できる。町有林実態調査は、26、28年度で事業実施中。外周GPS測量、標準地での立木数、樹齢、樹木高を調査している。平成28年度は宮崎地区を調査する予定である。

青柳議員 中山間地域等直接支払制度事業について、新聞で報道された小川地区の現状と今後の見通しおよび他地区への影響はどうか。

産業理事 この制度は地域における農地の維持管理活動として交付金支払われるもので、小川地区には年間160万円、5年間で約800万円が支払われた。小川地区の田は集落の上部にあり、揚水ポンプによる給水が必要とし、現在もポンプを使用して田を耕作している。当初は、将来ポンプの入れ替えが必要になった場合に備えて、年間160万円のうち100万円を積み立て、残りの60万円を草刈り等の農作業の費用として使うこととしていたが、協定参加者の了解の

なるかの判断は困難である。

町長 小学校の統廃合は、将来的には考えなくてはいけない問題であると認識している。保護者の意見も聞きながら慎重に進めなくてはならないと考えている。

青柳議員 中高一貫教育を受けている生徒の学力はどうか。

教育長 中高一貫教育連携クラスは当初朝日中学校のみで実施していたが、希望者が減ってきたので現在は全町の中学校に拡充している。全町に拡充してからは、学力が全体の6割を超える子を対象とした。全町対象にしてから丹生高校に入学した生徒は現在1年生なので、今後が楽しみである。

佐々木議員 スポ少の夕方の屋外での活動時間が長く、近ごろでは十分な照明の無い所で活動しているのをよく目にする。危険なので、暗くなる前に活動を終えるよう指導していただきたい。夜間の活動について、保護者と指導者、学校、町教育委員会で協議の場を作り、十分検討していた

もと、160万円全額を積立金とすることにした。ところが、協定参加者の中から、農作業の手間賃が出ないことに疑問が呈されたところ、説明が不十分で誤解が誤解を生むような形になり、話がこじれて新聞で報道されたような騒動になった次第である。その行為自体は違法なことではないと判断した。

今後の影響はある。現に、県や国の調査がきており、町も地元に対して厳重に注意している。

建設部門

佐々木議員 20、40代の人が新築した場合の助成制度を町単独事業として実施できないか。

副町長 国や県の補助に町からも上乗せするなど、若者の住宅新築に対する補助については前向きに検討したい。

佐々木議員 道路橋梁費の工事請負費の不用額について、次年度予定の事業の前倒しを

だきたい。

教育長 ナイターを利用して活動している団体もある。小学生としての発育状況に十分配慮していただくようお願いしていきたい。子どもたちの健全な育成を図ると同じ目的であるので十分にスポ少と学校が連携し、また短時間で密度の濃い練習に心がけるよう協力を求めている。

上坂議員 スクールカウンセラーについて、カウンセラーは児童生徒の相談時間数よりも教師の相談時間数が多いが、具体的な内容はどのようなものか。

教育長 教員のカウンセリングは、生徒指導に関することや担任と指導主事が指導の方向性などを協議する時に相談している。





平成28年度

議員視察研修報告書

○視察先

福島県会津若松市、岩手県平泉町、宮城県石巻市

○目的

会津若松市では、平成の市町村合併を機に積極的に議会改革・活性化への取り組みを始め、平成20年に議会基本条例を制定、市民の意見・要望に応えるための取り組み「政策形成サイクル」を実施している。

また、平泉町は「世界遺産」を最大限に活かし観光を核とした地域活性化をめざして、平成25年3月に「観光振興計画」を策定し、被災地を含む東北地方各地との広域連携や外国人観光客誘致の強化を目指す姿勢は大いに参考となる。

他に東日本大震災で発生した津波により多くの人命が失われ、甚大な被害を受けた石巻市の復興状況を視察し、今後の越前町におけるまちづくりの参考にすることを目的とする。

○内容

・福島県会津若松市「議会改革について」

・岩手県平泉町「地域資源を活かした個性ある観光地づくりに関して」

・宮城県石巻市 東日本大震災被災地の復興状況について

○日程

平成28年8月4日(木)～6日(土)

○参加者

議員12名、副町長、事務局3名 計16名

福島県会津若松市

◆議会基本条例の制定

合併による影響で議会改革を行い、任期満了を経て議員数30人の新しい市議会により、議会基本条例を制定。その特色は、市民参加と議員間討議、政策形成を柱に据えた点である。「議会は、市民との活発な意見交換を図り、そこで得られた意見を大切にしながら、議員同士が自由闊達な議論をたたかわせ、意見を集約していくことが必要である」としたうえで、「市民本位の立場をもつて、より適切に政策を決定するとともに、その執行を監視し、さらには、政策提言や政策立案を積極的に行っていくかなければならない」とした。



会津若松市議場にて

◆市民との意見交換会

議員は、市民との意見交換会を議員6人で班(5班体制)を作り、市内15地区を回る。班は会派や党派を超えたメンバーで構成され、準備や当日の運営など全てを議員

自身で行っている。

意見交換会で出された市民の意見や要望は、議会内の広報広聴委員会に集められ、整理分析される。ここで抽出された課題が議員による政策討論会のテーマとなり、議員間で協議を重ねる。その後、本会議や委員会での執行部との議論となり、政策立案や政策提言につなげる手法を取っている。「政策形成サイクル」

岩手県平泉町

◆外国人観光客の受入整備

町内の主な観光情報を7カ国語で紹介する音声ガイドペンを300本導入し、増加が予想される外国人観光客の受け入れに活用している。ガイドペンの貸出料金は1日500円。JR平泉駅前の観光案内所、中尊寺と毛越寺などの計4カ所で貸し出している。町全体の観光紹介に音声ガイドペンを導入しているのは、全国でも平泉町が初である。



7カ国語音声ガイドペン

◆景観条例、屋外広告物条例の制定

平泉町では、家屋を新築する場

◆終わりに

会津若松市議会は、市民からの批判が高まる中で、議会運営や議員のあり方などのゼロベースでの検討を始めた。「市民の利益」を第一に考え、会派や政党の違いを乗り越えて議員同士が互いに歩み寄り、互いに切磋琢磨する姿勢は当議会も参考とすべきである。

また平泉町は、自然と歴史が調和した史都にふさわしいまちづくりの実現に努める一方、町民や町内の企業も自主的に文化的景観の保存、継承に協力する姿勢は本町も大いに見習うべき点である。

津波の被害を受けた石巻漁港では、津波が発生した際に、その周辺で仕事をする人たちが速やかに避難することができるような施設を随所に設置している。本町も、沿岸部である越前地区は津波の災害を被る可能性が高い。また、越前町全域は原発立地30km圏内に入る。石巻市の対応や被災時の状況は、本町の今後の災害に対する防災体制の整備や見直しの参考となった。

平成28年8月23日

越前町議会

議長 木村 繁



平泉町役場にて

◆今後の課題

これまでの主たる産業が農業であり、観光業に関しては町全体の認識が低かった平泉町。観光客へいかにPRしていくかが今後の課題である。

岩手県石巻市

◆石巻市～大震災まなびの案内～

石巻観光ボランティアガイドがバスに同乗し、被災の大きかった地域の案内を受けながら、石巻市の復興状況を見学した。



ボランティアガイドがバスに便乗して被災地を案内



◆震災後の石巻市の津波対策



石巻港湾合同庁舎

石巻港湾合同庁舎は、津波被害を教訓に1階は執務スペースを設けず、事務所は2階以上に配置した。他に太陽光発電システム、断熱サッシや複層ガラス、LED照明などの省エネ設備を積極的に導入、5階部分に防災備蓄倉庫を整備してあり一時避難場所として516人を収容できる。備蓄倉庫には700食分の食料や飲料水、簡易担架、ラジオ、毛布などを保管している。



「がんばろう!石巻」の看板と慰霊碑・献花台



慰霊碑・献花台に手を合わせる



仮設住宅日和田が丘団地とその周辺



石巻魚市場に設置されている津波避難タワー

この施設には災害時の備蓄品を収めるベンチを設置、飲食物や非常用簡易無線機などを備える。屋上の太陽光発電設備で3日間、照明用電源を得られる。その後、被災地に立つ慰霊碑・献花台に向う。手を合わせた後、仮設住宅の現状について説明を受けた。慰霊碑と献花台の傍らには、「がんばろう!石巻」の看板も立っている。

議会・委員会・一部事務組合議会等 議員出欠状況

(6月18日～9月21日)

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退 ()は欠席の理由 (公)は公務、(葬)は葬儀参列

月	日	曜日	内 容	木村 議長	青柳 副議長	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	笠原 議員	村上 議員	北島 議員	上坂 議員	安井 議員	山本 議員	吉村 議員
7	1	金	福井県町議会広報研修会(県自治会館)	△(公)	○	○	○	○	○	○	△(公)	○	○	○	○	○
	4	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	火	議会広報特別委員会	△	○	○	○	○	△	△	○	△	○	○	△	○
	22	金	議会運営委員会 臨時会	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	1	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	水	県選出国会議員への要請活動(東京)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	4	木	議会議員全体研修 (福島県会津若松市・岩手県平泉町・ 宮城県石巻市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	8	月	町議会正副委員長研修(県自治会館)	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	○
	12	金	公立丹南病院組合議会 全員協議会・定例会(鯖江市役所)	△	△	△	△	○	△	△	△	△	○	△	○	○
	19	金	福井県丹南広域組合議会 全員協議会・定例会(越前市役所)	○	○	△	○	△	△	△	△	△	○	△	△	△
	22	月	鯖江広域衛生施設組合議会 全員協議会・定例会(鯖江市役所)	△	△	○	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△
	25	木	鯖江・丹生消防組合議会 全員協議会・定例会(越前町役場)	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△	○	△	△
9	26	金	福井県町議会議員研修会(県自治会館)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	2	金	議会運営委員会	○	△	○	○	△	△	△	△	○	△	○	○	○
	5	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	13	火	9月定例会(本会議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	水	9月定例会(現場踏査・全員協議会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	木	9月定例会(全員協議会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	金	9月定例会(全員協議会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	火	9月定例会(全員協議会) 議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	水	9月定例会(本会議) 議会運営委員会 議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「開かれた議会」のひとつとして、
町民の皆様には議会活動をより一層
知っていただくため、議会・各委員
会・一部事務組合等の議員出欠状況を
随時お知らせいたします。



議員研修会(県自治会館)



県選出国会議員への要望(衆議院議員会館)

いっぱん質問

その後

一般質問の答弁が、その後どのように町政に
反映されているのかを、調査しました。

ふるさと納税制度見直しについて

越前がにや越前水仙、越前焼、その他さまざまな特産品があるのに、十分な情報
発信がされていない。PRの手段として、ふるさと納税制度を有効に活用すべきで
はないか。
(平成27年12月定例会・田中太左工門議員)

答弁(町長)

寄付をしてくださる方々の思いを尊重しながら、適正な還元率の中で返礼品の充実
を図り、地元特産品の消費拡大につながるような取り組みを検討する。

- 特産品を活用した越前ブランドのPRや地域産業の活性化に向けて、本町の
ふるさと納税の在り方を検討すべく、平成28年5月に町職員によるワーキ
ンググループを設置し、インターネットによる寄附の受付や返礼品の見直し
を行った。
- 平成28年10月にふるさと納税ポータルサイト「さとふる」に登録
サイト内で寄附額に応じて返礼品を選択できるようにし、市町の紹介ページ
には越前町の名勝や特産品を掲載しPRを行っている。また、返礼品事業者
は今後も随時受付しており、町内事業者への協力依頼を行っている。





1. 御田植祭、抜穂祭

「神宮新穀献米事業」として、毎年団員所有の田んぼを借りて団員や地域の子供達と一緒に5月に御田植、9月に御稲刈の神事を行っています。収穫したお米は神宮と劔神社に奉納しています。

2. 獅子舞奉納

獅子舞は、秋季例大祭の10月9日に、劔神社及び織田地区(旧織田村)内11区の神社等で計15回奉納を行なっています。

平成25年の遷宮の際は、遷宮奉祝奉納行事において、内宮の神苑特設舞台で約200



劔神社敬神団の歴史は古く、昭和13年の記録には例大祭の雨障子の建撤や夏祭りの神賑行事の準備等、神社に奉仕する団体として活躍したことが記されています。現在は当時ほどではありませんが、団員18名で獅子舞の保存伝承活動を中心に神社祭事の奉仕を行なっています。

4. その他

その他に、1月初詣祈禱受付、6月夏越の大祓の茅の輪作り、不定期に劔神社周辺の清掃等の協力を行っています。

これからも敬神団の伝統が次世代に引き継がれるよう精進して参りたいと思います。

3. 神輿渡御

昨年の秋季例大祭で、約35年ぶりに神輿渡御が復活しました。今年も神輿渡御が行われ敬神団も世話役として協力しました。



傍聴席へどうぞ 次の議会は12月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください。) TEL.34-8712

編集後記

9月の定例議会も閉会し、来年度は町長と議員の改選時期となり、議員の一般質問に対して内藤町長は2期目出馬の意思表示をしました。

さて、議会だよりも発刊以来第46号となりました。町の行政施策に対する議会の活動内容を開示するものであり、また理事者側の事業の執行内容によっては「是は是、非は非」で対応し、議会としての責任を果たしたいと思っています。

本町の「顔」の見える行政、また「安全、安心で明るいまちづくり」のため、住民の皆様にも議会活動に関心を持っていただき、議会の傍聴を始め、ご意見ご要望をお寄せください。(上坂)

議会広報特別委員会

委員長 佐々木 一郎
副委員長 田中 太左衛門
委員 吉村 春男
安井 賢二
上坂 昭夫
村上 義人
青柳 良彦
齋藤 稔

発行責任者

議長 長木 村繁

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

http://www.town.echizen.fukui.jp/webworks/web/info/result.jsp?category_id=187